

第 8 9 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 2 8 年 3 月 3 0 日（水）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 8 9 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平 成 2 8 年 3 月 3 0 日 (水) 1 4 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 「 海 技 試 験 室 」

出席者：

公 益 委 員	儀 部 委 員、春 田 委 員
労 働 者 委 員	大 崎 委 員、屋 比 久 委 員
使 用 者 委 員	宮 城 委 員、大 城 委 員

沖 縄 総 合 事 務 局 宮 里 船 舶 船 員 課 長、玉 城 海 事 振 興 調 整 官、
野 原 課 長 補 佐、西 専 門 官

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 8 8 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 等 に つ い て
3. 平 成 2 7 年 度 若 年 内 航 船 員 確 保 推 進 事 業 の 実 施 結 果 に つ
い て
4. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

1. 第 8 8 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (平 成 2 8 年 2 月 分)
3. 平 成 2 7 年 度 若 年 内 航 船 員 確 保 推 進 事 業
4. 平 成 2 8 年 度 船 員 部 会 開 催 予 定 表

儀部部会長代理

定刻となりましたので、第 89 回船員部会を始めさせていただきます。

本日は宮里部会長が急遽、出席できなくなりましたので、部会長代理の私が議事進行をさせていただきます。

それでは、本日の委員の出席状況と配付資料の確認をお願いします。

事務局（西専門官）

本日は、公益委員 2 名、労働者委員 2 名、使用者委員 2 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

儀部部会長代理

それでは、初めに第 88 回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。

議事録案のとおりでよろしいでしょうか。

各委員

（「異議無し」）

儀部部会長代理

では、異議なしということで承認されたものといたします。

続きまして、議題 2 の管内の雇用状況等について事務局に御説明をお願いします。質問は最後をお願いします。

事務局（野原補佐）

平成 28 年 2 月分の管内雇用状況等の概要について報告いたします。

● 求人状況について

新規求人数は 18 件でした。前月に比べ 12 件増加、また、前年同月に比べ 6 件増加となっております。

月間 有効求人数は 31 件でした。前月に比べ 6 件増加、また、前年同月に比べ 8 件増加となっております。

月間有効求人数 31 件の内訳としましては、商船等 24 件、漁船 7 件となっております。

月末未済求人数は 19 件でした。

● 求職状況について

新規求職数は 13 名でした。前月に比べ 1 名減少、また、前年同月に比べ 8 名減少となっております。

新規求職数 13 名の内訳としましては、商船等 6 名、漁船 7 名となっております。

月間有効求職数は 30 名でした。前月に比べ 4 名減少、また、前年同月に比べ 8 名減少となっております。

月間有効求職数 30 名の内訳としましては、商船等 21 名、漁船 9 名となっております。

月末未済求職数は 19 名でした。

● 成立状況について

2 月は管内に 1 名採用が決まりました。

沿海の貨物船に甲板員として 10 代男性が採用されました。

● 求人倍率について

2 月の月間有効求人倍率は、1.03 倍でした。

前月に比べ 0.29 ポイント増加、また、前年同月に比べ 0.42 ポイント増加となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

2 月の新規求職者 13 名のうち離職者 6 名の退職理由としましては、船舶所有者都合等が 4 名で、自己都合が 2 名となっております。離職以外の方 7 名の求職理由としましては、全員が就業中に転職を希望する者でした。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が 9 名、管外が 4 名となっております。

● 失業等 給付支給 内訳について

基本手当 受給者 実人員は 3 名、支給延べ件数は 3 件で、基本手当支給金額は 393,312 円、その他、再就職手当の支給が 1 件あり、再就職手当給付金額は、314,820 円でしたので、総支給額は、708,132 円でした。

儀部部会長代理

ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますか。

大崎委員（労）

最後の 9 ページのところですが、若年船員の不足が騒がれている中で 30 歳未満の方でも求職をされております。この方の中で部員を求職されている方は海技免状を持っていないと思われます。

今後はこの方達に船に乗ってもらう施策をしないといけないと思います。会社側は即戦力になる資格を持っている人を求めています。この資料に実数として求職者が出ていますので、資格のない方に船に乗ってもらい乗船履歴をつけ、資格を取ってもらう事も考えないといけないと思います。

資格を持っている人ばかりを求めていると、中々成立しない時代が今後、来ると思います。

この間、沖縄の新聞で、バスの運転手が不足しており、バス会社

が免許のない方を採用して、免許を取らせる取組を行っているという記事がありました。今後、そう言うことを海上でも考えていけないといけない時期がもうそろそろ来るのではと思いますので、会社の方々はよろしくご検討願います。

以上、このデータを見て感じたことを述べさせて頂きました。

儀部部会長代理

ありがとうございました。他にございますでしょうか。無いようですので、議事3の「平成27年度若年内航船員確保推進事業の実施結果」について事務局から報告をお願いします。

事務局（西専門官）

配付資料の3をご覧ください。平成27年度 若年内航船員確保推進事業の実施結果についてご紹介させて頂きます。

今年度も昨年度と同様に「体験学習」「就業体験」「海事教室」の3つのプログラムを実施しました。

昨年度からの変更点ですが、昨年度は「就業体験」を県事業の就業体験の請負事業者の一部業務を委託し、「海事教室」は沖縄総合事務局が選定した請負事業者に業務を委託して実施しました。今年度は、効率を考え、全ての事業をまとめて1事業者に委託しました。

まず初めに「体験学習」について説明いたします。

この「体験学習」は中学生を対象に船員の仕事について興味を持ってもらい、船員養成施設である沖縄水産高等学校に入学してもらうことを目的としてしています。

実施日は7月28日（火）、参加者は、中学生34名、保護者11名、教師7名、合計52名でした。

実施場所は沖縄水産高等学校と県の実習船「海邦丸五世」です。

概要は、「海邦丸五世」の船内見学、沖縄水産高等学校の操船シミュレーターでの操船体験、機関実習棟での機関始動体験、内航船の説明、OB、在校生との意見交換会です。

船内見学では乗組員以外に学生にも設備の説明をしてもらい、参加者からは学生が説明していることに評判が良かったです。

昨年度までは午後からの開催でしたが、午前中からの開催に変更し、操船シミュレーター等の学校施設の見学を増やしました。昼食には、実習で取ったマグロでマグロ丼を船内で調理してもらい、船内の食堂で食事してもらいました。

一方、沖縄水産高校の志願倍率は、23年度1.65倍、24年度1.16倍、25年度1.26倍、26年度2.06倍、27年度1.66倍、28年度1.73倍と他校と比べて倍率が高い状態が続いており、この体験学習の取組も影響しているのではないかと考えております。

来年度も、この状況を維持するために、同様の内容で体験学習を実施する予定です。

次に「就業体験」について説明いたします。

この「就業体験」は水産系高校の生徒を対象とし、夏休み期間中

に内航船に3日間程度、乗船してもらい、航海当直や出入港作業、機関整備などの船内作業を体験してもらい、内航海運事業者に船員として就職をしてもらう事を目的としています。

就業体験前に内航船についてと就業体験の注意事項などを説明し、就業体験を実施しました。また、就業体験後に生徒同士で就業体験で経験した事の情報共有のため、報告会を開催しました。

参加者は沖縄水産高等学校2年生30名と今回から宮古総合実業高等学校2年生13名、3年生6名、計49名が参加しました。昨年度は宮古総合実業高等学校で就業体験を実施していなかったので今回限りで3年生にも参加してもらいました。

就業体験の実施船舶は、昨年度と同様に、久米商船のフェリー琉球、東亜運輸の第五天竜丸、この船はタンカーです。フェリーとかしき、フェリー座間味、フェリー粟国、大東海運のだいとうに協力を頂き、更に、今年度より琉球海運のしゅれい、ちゅらしま、多良間海運のフェリーたらまゆうにも協力を頂きました。

来年度も同様の内容で就業体験を実施する予定ですが、追加でタグボートなどの作業船にも就業体験できるようにしたいと考えております。

続いて「海事教室」について説明いたします。

この海事教室は小学校高学年とその保護者を対象とし、海事産業に興味を持ってもらう事を目的としています。

実施日は11月15日(日)、小学生27名、保護者23名、計50名が参加し、フェリーとかしきに乗船して実施しました。実施内容は、昨年同様、体験乗船、船内見学、講師による船や船員の講話などを行い、今年度は、航海中の船橋に入ってもらい、双眼鏡やレーダーで他船の状況を航海当直航海士に連絡する船を運航するのに重要な「見張り」の体験をしてもらいました。更に、船内で消防訓練を実施し、船尾で消防用のホースで放水する体験を実施しました。

来年度も同様の内容で海事教室を実施する予定です。

来年度は、「体験学習」「就業体験」「海事教室」の他に、高校の進路指導の先生を対象として、内航船の船内見学と船員の仕事、商船系の大学や海上技術短期大学校の紹介などを行い、進路指導で生徒に商船系大学等への進学を選択肢の1つに加えてもらう事を目的に「海事セミナー」を実施する予定です。

就業体験でも水産系高校以外に一般の高校の生徒、特に進学校の生徒に内航船で就業体験をしてもらい、船員の仕事に興味を持ってもらい、商船系大学等への進学を希望してもらうことを考えております。

以上です。

儀部部会長代理

どうもありがとうございました。ただいまの報告につきまして、何か御質問等ございますでしょうか。

春田委員（公）

沖縄県は何隻、実習船を所有しているのですか。また、実習船以外に何隻船を所有しているのですか。

事務局（西専門官）

小型船舶を除いて実習船は1隻です。また、それ以外は漁業取締船、漁業調査船などを所有しています。

儀部部会長代理

無いようですので、議事4の「意見交換」に移りたいと思います。何かございますでしょうか。

儀部部会長代理

何も無いようであれば、事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局

（4月1日付けでの事務局の人事異動予定の報告があった）

事務局（西専門官）

4月の船員部会は、4月21日（木）に5階聴聞室兼会議室で14：00より開催いたします。出席できない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、いつもどおりメールで照会させていただきますのでよろしくお願いいたします。

儀部部会長代理

それでは、本日の部会はこれで終了します。